



オリジナル製品の
「サニタリーチャッキバルブ」

ました。ただ、新潟ではそれを
使って物を作る仕事が無
い時代。そこで、筆筒の
引手金具や金火箸を作っ
ていたところ、その噂が徐
々に広まり、加茂の筆筒屋
さんや三条の間屋さんを相
手に商売するようになった
と聞いています。

その後、当社の技術力が
買われて内田製作所（現
株式会社）の初代社長から
加圧式燃料コンロのノズル
バーナーの試作開発を依頼
されたのを皮切りに、様々
な会社から引き合いが来る
ようになりました。

— 全国の食品工場で加茂
の技術が活躍しているの
ですね。

国内では、北は北海道の
乳業メーカーから、南は沖繩
のモスク工場まで全国各地
の食品工場で使用されてい
ます。

— 高い技術力がビジ
ネスの輪を広げたとい
うわけですね。

大輔さん・ありがとうございます
ことに口コミで広がっていき
ました。それに、下請仕事だけ
ではなく、自分たちの手でオ
リジナル製品を開発したくて
色々なものにチャレンジしてき
ました。現在では「サニタリー
チャッキバルブ」というものを
製造販売しています。これは、
液体の逆流を防ぎ、どの向
きで使用しても液体が漏れな
い構造で国内外から受注いた
だくようになりました。

— 今後の目標は

大輔さん・現在、自社
製品の売上は全体の3割程な
ので、これを5割まで引き上
げるための新製品開発。また、
数年前から海外のバルブメー

— 経営のモットーを教え
てください。

小林社長・やはり、信用
と信頼が第一ですね。相手企
業との約束は守り、依頼され
たことをやり遂げる。当たり
前のことですが、これがきち
んとできなければ、会社は続
かないですからね。

— ありがとうございます
した。

大輔さん・以前、県外の
大手乳業メーカーへ営業で訪
問した時、担当部長さんから
「これは日本のバルブだ！」
と言っていたとき、新工場
の採用がその場で決まった時
は涙が出るほどうれしかった
です。

— ありがとうございます
した。



(株)小林精密

住 所：加茂市芝野9-13
TEL：0256(52)1596
営 業：8時10分～17時10分
定休日：土・日曜・祝日他(年間118日)
HP：http://www.c-kose.jp/



今回の AKINDO

(株)小林精密
生産技術
小林 大輔さん(36歳)
趣味：TVでスポーツ観戦



大輔さん・当社では、
主に「サニタリーバルブ」
という機械部品を製造して
います。これは、ジュース
やお茶などの飲料製品、乳
製品、注射液や点滴液と
いった医薬品等を製造する
設備で使用されているもの
です。当社のバルブは、内
部の細菌類繁殖を防いで、
無菌状態を保てる構造が特
徴です。

— 創業70周年おめでとう
ございます。はじめに、(株)
小林精密さんではどのよう
なものを製造しているの
ですか。

創業70周年を迎え、積
極的な自社製品開発と海外
市場展開に取り組んでいる
「(株)小林精密」の社長の小
林庄治さん、専務の小林昇
さん、小林大輔さんの3名
にお話を伺いました。

— 色々な部品があるん
ですね。そのバルブは創
業時から製造していたの
ですか。



大輔さん・いいえ、会
社が設立したのは戦後の混
乱期でした。私の祖父であ
る先代の社長が、それまで
勤めていた会社を退職する
時、退職金の他に貨物車両
2両分の工作機械を譲り受
けたそうです。おかげで旋
盤（せんばん）やフライス
盤などの機械や設備は整い